

	令和6年度 重点目標	学校自己評価		令和6年度 振り返り
	本年度の重点取り組み目標	分掌内	分掌外	成果もしくは、改善の方策
第3学年	基本的な生活習慣の確立により、社会適応力を高める。	3.40	2.98	多くの生徒は体調管理に努め、なるべく遅刻や欠席をしないよう心掛けることができた。しかし気持ちの緩みから欠席がかさんだり、毎日のように遅刻をしたりする生徒もあり、改善が図れなかったことが残念である。
	進路目標達成に向けての指導・支援を行うとともに、生涯学習への姿勢を育てる。	3.32	2.95	学年団だけでなく、進路指導部や教科担当の協力のもと、多くの生徒が各自の目標を達成するべく努力した。また、進路決定後も積極的に検定試験に挑戦する生徒も見られた。
	行事やクラス活動を通してさらなる友情を育み、同窓意識を高めていく。	3.12	3.12	県尼祭や体育大会等の行事では、互いに意見を出し合いながら準備を進め、当日はクラスの枠を越えて全体で盛り上がる事ができた。また、卒業式に向けて熱心に歌の練習にも取り組み、特にこの一年で同窓意識を高めることができたと思える。
第2学年	基本的な生活習慣を確立させ、社会適応力を育成する。	2.86	2.86	ほとんどの生徒は基本的な生活習慣を身につけて安定した学校生活を送っているが、一部、遅刻や欠席が目立つ生徒が見られる。社会に出てからのことも考え、心身ともに健康でいられるような意識づけを行いたい。
	進路目標を意識させ、その達成に向けて学力を強化する指導を行う。	2.98	2.98	進路行事、『学びの基礎診断』、『共通テスト模試』や進路に関するLHR等を通して、多くの生徒が進路目標を定めつつある。今後も、進路ガイダンスや学年集会等で進路意識の啓発を促進していく必要がある。
	さまざまな活動を通して対人能力を向上させ、より良い人間関係を構築させる。	2.90	2.90	行事だけでなく普段の学校生活においても周囲を気遣うようになってきている。人間関係のトラブルもいくつかあったが、担任や学年だけでなく、生徒指導部と連携を取りながら対応した。
第1学年	基本的な生活習慣を確立させ、挨拶の励行や時間の厳守、生活上の諸規則を遵守することを徹底させる。	2.89	3.80	多くの生徒が挨拶ができ、時間を守り、学校生活のルールを守って行動することができており、比較的落ち着いた生活ができていると感じる。一方で、遅刻・欠席が多く、基本的な生活習慣が乱れ、ルールの遵守が徹底できていない生徒も一定数存在する。次年度も継続して指導していきたい。
	学習習慣を確立させ、基礎学力を定着させる。	2.70	3.01	小テストや長期休業中の課題等、各教科で継続的に取り組んできたが、学習意欲が高く力をつけることができていた生徒と、取り組みが不足し学力の定着ができていない生徒との学力差が生じてきている。次年度は、学力の定着が不十分な生徒には基礎・基本を、中上位層の力を持つ生徒には学力向上を目指していきたい。
	学校行事、ホームルームでの活動、部活動等を通して、コミュニケーション力や協調性を養う。	2.70	3.05	遠足や文化祭、体育祭等の各行事への取り組みについては、各クラスで生徒が主体性をもち、協力して物事を達成する姿が見られた。一方で部活動の入部率は減少しており、学校生活の中で学習と諸活動とのバランスを保てるよう、今後は指導していきたい。